



2018年7月31日

各 位

会 社 名 キョーリン製菓ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 穂川 稔
(コード番号 4569 東証第1部)
問 合 せ 先 社長室 コーポレートコミュニケーション部長 宮木 修次
電 話 番 号 03-3525-4707

資本政策の基本方針及び株主還元策の変更について

当社は、2018年7月31日開催の取締役会において、下記の通り、資本政策の基本方針及び株主還元策の変更を決議いたしました。

記

1. 資本政策の基本方針及び株主還元策の変更の理由と内容

当社は、中期経営計画「HOPE100—ステージ2— (2016~2019年度)」におきまして、健全な財務基盤を維持する中で、成長投資と株主還元が両立することを資本政策の基本方針として参りました。また、当中期経営計画では、主力製品の特許満了による業績への影響が予想され、一旦、減益局面となるものの、重点戦略の推進により、その後、業績は回復するとの見通しに基づき、株主還元については、現状の配当水準をベースに「安定的な配当」を目指すこととしておりました。

今般、経営課題への対応により、業績の回復が一定程度、見通すことの出来る状況を迎えたこと、及び当社財務基盤の現状を考慮して、資本の効率化及び株主価値のさらなる向上を図る政策に転換することとし、そのための取り組みの一つとして、株主還元を強化することにいたしました。この新株主還元策は、特別な経営環境の変化がない限り、今後も継続していく所存です。

なお、中期経営計画「HOPE100—ステージ2—」の実現に向けた事業戦略に変更はなく、当社は、引き続き、持続的な成長のための成長投資を行いつつ、数値目標の達成に全力で取り組んで参ります。

(変更前)

健全な財務基盤を維持する中で、成長投資と株主還元を両立する資本政策とします。株主還元については、現状の配当水準をベースに「安定的な配当」を目指します。

(変更後)

健全な財務基盤を維持しつつ、成長投資と株主還元を通じて、資本効率の向上を図ります。株主還元につきましては、DOE (株主資本配当率) を勘案して、安定した配当を継続します。

2. 適用時期

2019年3月期より適用いたします。

以上